

アニメーション文化講座 アニメーションの見方を学ぼう ～受け継がれる制作者たちの志～

この講座では、制作現場で活躍してきた当事者や制作者たちの声を
たくさん聞いてきた講師陣の証言によって、
アニメーション表現の真髄と面白さの秘密を探っていきたいと思います。

全4回
通し受講のみ

第1回 アニメーション表現の基礎と制作者の志

1月12日 講師：稲村武志 / アニメーター・作画監督

第2回 高畑勲・宮崎駿両監督作品の現場から①

1月19日 講師：才田俊次 / アニメーター・作画監督

第3回 高畑勲・宮崎駿両監督作品の現場から②

1月26日 講師：佐藤好春 / アニメーター・
キャラクターデザイナー・作画監督 (アートディレクター)

第4回 総括およびアニメーションの現在と未来

2月2日 講師：叶精二 / 映像研究家・フリーライター

いずれも金曜日 午後7時～8時30分

定員 / 50人 (先着制) 受講料 / 一般 3,000円、市民 2,400円ほか
会場 / 三鷹ネットワーク大学

お申し込み・お問い合わせ

三鷹ネットワーク大学推進機構

申込開始 ▶ 12月5日(火) 午前9時30分～

FAX 0422-40-0314 お問い合わせ電話 0422-40-0313

URL <http://www.mitaka-univ.org/>

郵送先 〒181-0013 三鷹市下連雀3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階

講座趣旨

日本のアニメーションは、1917年、3人の作家、下川凹天、幸内純一、北山清太郎によって始まったと言われています。その後、政岡憲三が、ディズニーなど海外のアニメーション技法を研究しながら、日本における本格的なセルアニメーションの制作を開始します。戦後になって政岡は日動映画を立ち上げましたが、後に東映動画に吸収され、その技術や理論の一部は制作スタッフとともに東映動画に引き継がれました。しかし、テレビアニメーションが量産されるようになると、政岡が追い求めた技術や理論の多くは必要とされませんでした。主観的で感情移入型の演出方法が発展した日本のアニメーションにおいては、動きよりも、ストーリー展開のほうに重要視されたからかもしれません。

高畑勲や宮崎駿は東映動画の出身であり、本来であれば伝統的な技術の多くを引き継いで、時間や予算が許せばやりたかったことがたくさんあったはずですが。しかしそれが許されなかったことから、試行錯誤の末、新たな技術や表現を生み出したといえます。それは伝統的な表現方法を理想としながらも、現状の中でやれる最大のことに挑戦したといえるでしょう。そしてその精神は、間違いなく政岡から受け継がれたものなのです。こうして受け継がれてきた制作者たちの志とはいかなるものなのでしょう。

現在、多種多様なアニメーションが作られるようになり、ますます広がってきたアニメーションの技術や表現方法の中で、政岡憲三をルーツとし、東映動画からスタジオジブリに至るアニメーション制作の歴史の中では、具体的にどのような技術的・表現的発明があり、制作現場ではどのようなことが重要視されてきたのでしょうか？

この講座では、制作現場で活躍してきた当事者や制作者たちの声をたくさん聞いてきた講師陣の証言によって、その一端を紐解き、アニメーション表現の真髄と面白さの秘密を探っていききたいと思います。

講座開催概要

日程	平成30年1月12日、19日、26日、 2月2日 いずれも金曜日
時間	午後7時～8時30分
定員	50人(先着制)
回数	全4回(通し受講)
受講料	一般 3,000円 市民 2,400円 市民学生 1,800円 会員 1,500円
難易度	★★★
会場	三鷹ネットワーク大学
申込み	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> Web FAX 窓口 郵送 </div> いずれかで 申込受付:12月5日(火) 午前9時30分～

アニメーション表現の基礎と制作者の志

講師：稲村武志(アニメーター・作画監督)

第1回
1月12日

数々のスタジオジブリ作品で作画監督をつとめ、現在はスタジオポノックで活躍する講師による、アニメーション技術の基礎講座。上手なアニメーションにはどのような秘密があるのでしょうか？ 脈々と受け継がれてきた技術と精神を、制作者自身の視点で紐解きます。

高畑勲・宮崎駿両監督作品の現場から①

講師：才田俊次(アニメーター・作画監督)

第2回
1月19日

「セロ弾きのゴーシュ」「アルプスの少女ハイジ」「未来少年コナン」等数々の作品で原画を担当してきた講師が語る証言。高畑・宮崎両監督の初期作品における貴重なエピソードを交えながら、当時の制作現場ではどのようなことが大切にされ、その後のアニメーションに引き継がれていったのかを探ります。

第3回 1月26日	高畑勲・宮崎駿両監督作品の現場から② 講師：佐藤好春(アニメーター・作画監督)
	「世界名作劇場」や初期スタジオジブリ作品で作画監督を担当するなど、テレビアニメから劇場用アニメ、ゲーム作品に至るまで様々な作品に携わってきた講師が、高畑・宮崎両監督の制作現場のエピソードを通して、創作の秘密を語ります。聞き手は、アニメCMのプロデューサー釘宮陽一郎です。
第4回 2月2日	総括およびアニメーションの現在と未来 講師：叶精二(映像研究者・フリーライター)
	映像研究者として、多くのアニメーション制作者の証言を収集してきた講師によるまとめ。高畑勲、宮崎駿ら一群の制作者たちは、手間を惜しまない東映動画（現東映アニメーション）制作の長編を起点として出発しました。その技術思想や表現様式は、省力化を前提としたテレビシリーズ制作の中でどのような変遷をたどり、何を継承・発展させて来たのか。1970年代を中心に現在に至る流れの俯瞰を試みます。

講師紹介（敬称略）

稲村武志（いなむらたけし）アニメーター・作画監督

シンエイ動画で動画・動画チェックを担当。1991年にスタジオジブリへ入社後、数々のジブリ作品で原画、作画監督等を手がけ、フリーを経て、スタジオポノックへ。主な作品として、「ホーホケキョ となりの山田くん」(99年)、「千と千尋の神隠し」(01年)、「猫の恩返し」(02年)、「借りぐらしのアリエッティ」(10年)、「風立ちぬ」(13年)など、数々のジブリ作品で原画を担当。「崖の上のポニョ」(08年)、「思い出のマーニー」(14年)で作画監督補、「ハウルの動く城」(04年)、「ゲド戦記」(06年)、「コクリコ坂から」(11年)では作画監督を務めた。その他に、三鷹の森ジブリ美術館オリジナル短編作品「くじらとり」(01年)、「たからさがし」(11年)の演出アニメーターとして携わる。ジブリ退社後は、「バケモノの子」(15年)、「君の名は。」(16年)等の作品に原画で参加。「メアリと魔女の花」(17年)では作画監督を務めた。

才田俊次（さいだとしつぐ）アニメーター・作画監督

1949年7月5日熊本県山鹿市生まれ。漫画家を目指して上京した後、撮影、彩色(東映動画長編「長靴をはいた猫」他)のアルバイトを経て、70年杉並区の作画下請け会社オープロダクションに入社。同社の小松原一男、村田耕一に師事する。小松原と組んだ「タイガーマスク」(69年)の原画で頭角を現し、以後劇画タッチの作品から世界名作シリーズなどのソフトなタッチまで幅広い作品をこなす。高畑勲、宮崎駿、小田部羊一らが主導した作品、「アルプスの少女ハイジ」(74年)、「母をたずねて三千里」(76年)で原画を担当。「小公女セーラ」(85年)ではキャラクターデザイン&作画監督。高畑勲監督の長編「セロ弾きのゴーシュ」(82年)では原画の全てを一人で作画した。現在も「ちびまる子ちゃん」(90年～)の作画監督として活躍しつつ、オープロダクション取締役、東京工芸大学芸術学部講師として後進の指導にあたっている。

佐藤好春（さとうよしはる）アニメーター・キャラクターデザイナー・作画監督(アートディレクター)

1958年5月15日横浜生まれ。「となりのトトロ」(88年)で作画監督、「おもひでぼろぼろ」(91年)で作画監督補佐を務めるなど、数多くのスタジオジブリ作品に参加。世界名作劇場シリーズでは、キャラクターデザイン、作画監督を担当する他、アートディレクターとして多くのゲーム作品も手がけている。近年では、2015年公開の劇場映画「シンドバット」の作画監督、キャラクターデザイナーを務める他、釘宮陽一郎と企画を組み、劇場用短編映画、プロモーションCMを多数制作している。

叶精二（かのうせいじ）映像研究者・フリーライター

早稲田大学、亜細亜大学、大正大学、東京工学院アニメーション科講師。国内外の短編・長編アニメーションの研究を中心に活動し、朝日新聞社「WEBRONZA」連載など取材記事・批評など寄稿多数。著書に『日本のアニメーションを築いた人々』(若草書房)『宮崎駿全書』(フィルムアート社)『「アナと雪の女王」の光と影』(七つ森書館)、編著に『マンガで探検! アニメーションのひみつ』全3巻(大月書店)など。

三鷹ネットワーク大学 受講者登録用紙

*すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。インターネットでもご登録ができます。

※太枠内の項目は必須事項です。

登録日： 平成 年 月 日

お名前	フリガナ	性別	男・女	生年月日	西暦 年 月 日
受講者区分 ※該当する番号を1つ選んで○をつけてください。	(1)【市民】三鷹市にお住まいの方(学生は除く) (2)【市民(在勤・在学)】三鷹市外にお住まいで、三鷹市内の職場・学校に通われている方 (3)【市民学生】三鷹市にお住まいの学生の方 (4)【会員】勤務先、学校等が三鷹ネットワーク大学の正会員または賛助会員の方 (5)【一般】三鷹市外にお住まいの方				

Eメール					
緊急連絡先	携帯電話番号：		携帯Eメール：		

《郵便物の送付先※振込用紙や受講証等のお送り先を、下記から選んでください。》

郵便物送付先	ご自宅	勤務先
---------------	-----	-----

《ご自宅》

ご住所	〒 —			
電話番号		F A X		

《勤務先・学校名等》

勤務先名称	※学生の場合は学校名と学部・学科名			
勤務先部署名	※学生の場合は学籍番号		役職名	
ご住所	〒 —			
電話番号		F A X		

《ご職業等》※職種・業種について該当するものにそれぞれ○をつけてください。

勤務先業種	①官公庁 ②団体 ③教育 ④宗教 ⑤医療 ⑥建設 ⑦金融・保険 ⑧製造 ⑨運輸・通信 ⑩農林水産 ⑪電気・水道 ⑫不動産 ⑬卸・小売 ⑭飲食 ⑮IT・ソフト ⑯その他
職業(職種)	①経営者 ②役員・管理職 ③一般事務 ④営業 ⑤販売・サービス ⑥生産管理 ⑦研究開発 ⑧専門職(医師・弁護士等) ⑨教職 ⑩自由業 ⑪専業主婦 ⑫無職 ⑬その他

《三鷹ネットワーク大学からの情報提供ご希望の有無》

情報提供	希望する	希望しない
-------------	------	-------

《興味をお持ちの分野》※3つまでお選びください。

1 経営・経済学	2 歴史学	3 法学	4 文学	5 工学	6 教育学	7 福祉・医療	8 介護・看護
9 コンピューターサイエンス	10 アジア・アフリカ系言語	11 総合政策	12 国際関係論	13 政治学	14 天文学	15 農学	16 臨床心理学
17 カウンセリング学	18 社会心理学	19 国際コミュニケーション学	20 スポーツ医学	21 マーケティング学	22 人間環境学	23 キャリアデザイン等	24 社会福祉学
25 情報科学	26 情報コミュニケーション学	27 グローバルビジネス学	28 宗教学	29 平和学	30 生物学	31 化学	32 数学
33 教養学	34 建築学	35 その他					

◆**受講者登録について** *すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。

三鷹ネットワーク大学で受講される場合は、受講者登録の手続きが必要です。講座のお申し込みをする前に(講座のお申し込みと同時に)、必ず受講者登録を済ませてください。ご登録をしていただくことにより、今後お申し込みされる際に、ご住所等、個人情報を記入する手間がなくなります。またインターネットからのお申し込みも可能となります。

◆**個人情報について**

ご記入いただいたお客様の個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切に管理するとともに、受講決定通知および講座のご案内目的のために使用します。

D04

三鷹ネットワーク大学企画講座／三鷹の森ジブリ美術館協力

アニメーション文化講座

アニメーションの見方を学ぼう～受け継がれる制作者たちの志～

受講者 番号	E から始まる数字 6 ケタをご記入ください。 E	申込日	平成	年	月	日
	フリガナ		電話番号			
名前						

※申込欄に○をご記入ください。

申込欄	講座日程・講座タイトル・講師	受講料	受付印
	三鷹ネットワーク大学企画講座／三鷹の森ジブリ美術館協力 アニメーション文化講座 アニメーションの見方を学ぼう ～受け継がれる制作者たちの志～ 第1回 1月12日 講師：稲村武志(アニメーター・作画監督) 第2回 1月19日 講師：才田俊次(アニメーター・作画監督) 第3回 1月26日 講師：佐藤好春(アニメーター・作画監督) 第4回 2月 2日 講師：叶精二(映像研究家・フリーライター) いずれも 金曜日 午後7時～8時30分 [D1750400]	一般 3,000円 市民 2,400円 市民学生 1,800円 会員 1,500円	

※ファックスでお送りいただく場合には、着信確認のためのお電話をお願いいたします。

電話：0422(40)0313 ファックス：0422(40)0314

[郵送での申込]〒181-0013 三鷹市下連雀3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階 三鷹ネットワーク大学事務局

この講座をどこでお知りになりましたか？（該当するものに○を1つだけご記入ください）

- | | | |
|---------------------|----------------|-----------|
| 1. 三鷹ネットワーク大学ホームページ | 5. 学内ポスター・チラシ | 9. その他（ ） |
| 2. ダイレクトメール | 6. 講師・教職員よりの紹介 | |
| 3. 三鷹市広報 | 7. 友人・知人よりの紹介 | |
| 4. ポスター／チラシ | 8. 新聞記事等 | |

【ご受講について】

●受講料のお支払いについて

受講予定者の方には、受講料のお支払い方法についてのご案内をお送りします。郵便振替、現金等、書類に記載されている方法で、お支払いください。受講予定者としてご通知した方からの受講料のお支払いを事務局が確認できた時点で、受講が確定します。期日までに受講料をお支払いいただけない場合には、お申し込みを取り消す場合がありますのでご注意ください。※お支払い方法は、講座によって異なる場合がありますので、詳しくはお送りする書類をご確認ください。

●受講のキャンセルについて

- 講座申し込み後にお客様の事情により受講をキャンセルする場合は、至急事務局まで電話でご連絡ください。
- 一度申し込んだ講座を別の講座に変更することはできません。申し込み済みの講座のキャンセルをしてから、再度希望の講座にお申し込みください。ただし、講座申込期間内のみ受け付けます。
- 受講料入金後のキャンセルについて

1. 講座前日(連続講座の場合は第一回講座前日)までに申し出があった場合

キャンセルの申し出があった日から2週間以内に事務局まで受け取りに来ていただければ、全額返金します。なお、2週間を過ぎても受け取りに来ていただけなかった場合は500円の手数料を差し引いた残額を郵便小為替で送付します。この場合、受講料500円以下の講座については返金はいたしません。

2. 講座当日(連続講座の場合は第一回講座当日)、講座開始時刻前に申し出があった場合

講座当日(連続講座の場合は第一回講座当日)から2週間以内に事務局まで受け取りに来ていただければ、500円の手数料を差し引いた残額を返金します。なお、2週間を過ぎても受け取りに来ていただけなかった場合は500円の手数料を差し引いた残額を郵便小為替で送付します。この場合、受講料500円以下の講座については返金はいたしません。

3. 1, 2以外のキャンセルの場合

受講料の返金はいたしません。

●受講資格について

受講は原則としてお申し込みされた本人のみとさせていただきます。受講資格を他の人に譲渡することはできません。